

中世ロシア文化講演会のご案内

ペテルブルグのロシア文学研究所(プーシキン館)の中世ロシア文学部門の研究者であるエヴゲーニイ・ヴォドラスキン氏および奥様のタチアーナ・ルーディ氏が国際交流基金の招へいにより来日されます。離日前のひとときを利用して、ご専門の研究分野についてご夫妻からお話をお伺い、意見交換をする機会を設けたいと思います。

ロシア文学・文献学、歴史学の専門の方々、ロシアの宗教文学の世界に興味をお持ちの方々のご参加をお待ちしています。

日時 3月28日(火) 15時～17時30分

【使用言語ロシア語。通訳無し。
事前の申し込み不要】

司会:三浦清美(電気通信大学)

講演: **Евгений Германович Водолазкин:**



«Типы древнерусского исторического повествования»

Татьяна Робертовна Руди:
«Об аскезе юродивых
(на материале древнерусских житий)»



場所 東京大学文学部 3号館 7階 スラヴ語スラヴ文学演習室
最寄駅: 地下鉄「本郷三丁目」、「東大前」

アクセス http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_05_03_j.html

お二人の研究者としての業績は次のサイトで見ることができます。

Водолазкин, Евгений Германович

<http://odrl.pushkinskiydom.ru/Default.aspx?tabid=1965>

Руди, Татьяна Робертовна

<http://odrl.pushkinskiydom.ru/Default.aspx?tabid=1972>

関連企画 (いずれも通訳有)

ヴォドラスキン氏の中世ロシアを舞台とする小説『聖愚者ラヴル』(2013年ボリシャヤ・クニーガ賞受賞)の邦訳出版(作品社)を記念して、東京でトークとシンポも行われます。

3月18日 19時30分 書店トーク@ジュンク堂池袋本店(聞き手:沼野充義、沼野恭子)

※ 19時開場、入場料1000円(ドリンク付き)

https://honto.jp/store/news/detail_041000021053.html?shgcd=HB300

3月19日 15時～17時 @東京大学文学部(本郷) 法文2号館 文学部1番大教室

シンポジウム「<聖なる愚者>が切り開く文学の未来:ロシアの作家・中世研究者エヴゲーニイ・ヴォドラスキンを迎えて」(パネリスト 亀山郁夫、島田雅彦、沼野充義)

<http://www.l.u-tokyo.ac.jp/~slav/>

無料、事前登録不要

(東京大学文学部スラヴ語スラヴ文学/現代文芸論研究室・国際交流基金 共催)